

## 取扱説明書

この度は、700DTA デスクトップアンテナをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。  
700DTA は、500kHz ~ 30MHz をカバーする室内用受信専用アンテナです。シールド効果が非常に優れていて堅牢なアルミダイキャストケースに収められている同調回路は、適切にバンド分割がされており、手動で最良点に同調でき、鋭い同調特性を発揮します。

さらに優れた強信号特性をもつ高周波増幅回路を内蔵しており、コンパクトな手軽さ本格的受信フィードを兼ね備えた室内アンテナです。中波放送帯～短波帯を受信するBCL等に最適な室内アンテナです。AC 電源ノイズを排除した電池駆動ですので、様々なロケーションでの受信にも適しています。

### 【内容品】

700DTA には(表1)の内容品が含まれています。

(表1) 700DTA 内容品

品名	数量
700DTA 本体 (アルミダイキャスト筐体)	1
アンテナエレメント (伸縮式 約 15cm~60cm 銀色)	1
内蔵用電源電池 (角形乾電池 006P)	1
受信機接続用同軸ケーブル (BNCP-BNCP 約 3m)	1
取扱説明書(本紙)	1

### 【準備と設置】

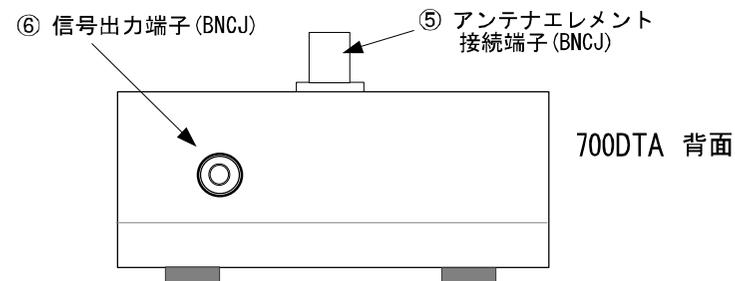
700DTA の電源は内蔵電池から供給されます。700DTA を使用する前に、内蔵電池を取付けます。電池の取付け、電池が消耗したときの交換は、裏面の「電池交換」の項を参照してください。700DTA は、窓など建物の開口部と近いところに設置することをお薦めします。特に鉄筋コンクリートなど電波の遮蔽性が強い建物内では性能を十分に発揮できないことがあります。また、安定した場所に設置して、落下などのないようにしてください。

一時的にでも屋外に設置する場合には、風などの影響で意図しないで移動したり落下したりしないように注意してください。700DTA は気密性の高い筐体に収められていますが、室内用として製作されているので、防水防滴加工をしていません。屋外においては、万が一の雨や結露などにご注意ください。室内外問わず、水濡れや結露は故障や破損の原因となります。

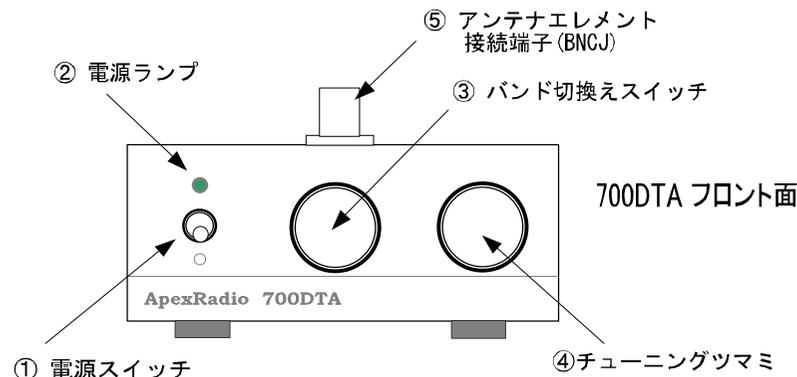
700DTA 本体の上面のコネクタ(左図⑤)にアンテナエレメント、背面のコネクタ(左図⑥)に付属の同軸ケーブル(約 3m 両端 BNCP 付)を介して受信機を接続します。

※ 工具などの扱いによってケガをされないよう、ご注意ください

### 【各部の名称と働き】



700DTA 背面



700DTA フロント面

(表2) 図中番号と各部の概要

番号	名称	概要
①	電源スイッチ	トグル式スイッチ。レバーが上側で電源オン、下側で電源オフ
②	電源ランプ	700DTA の電源オンのときに点灯
③	バンド切換えスイッチ	受信周波数に適した受信バンドを選択するスイッチ
④	チューニングツマミ	受信周波数に対して同調するためのツマミ
⑤	アンテナエレメント接続端子	伸縮式アンテナエレメントを取付ける端子(BNC-J)
⑥	信号出力端子	700DTA から受信機に対して信号を出力する端子(BNC-J)

### 【アンテナエレメントの取付け】

上図の⑤アンテナエレメント接続端子(本体上面 BNC-J)に付属アンテナエレメント(伸縮式、銀色、BNC-P)を取付けます。アンテナエレメントは垂直式で、通常は完全に伸ばしきって(約 64cm)使います。信号が強すぎるなどの受信状態や受信周波数、周囲からのノイズなどの環境に、適切に縮めたほうが良好な結果を得ることもあります。

なお、アンテナエレメント接続端子には、外部アンテナなど、付属アンテナエレメント以外のものを接続しないでください。良好な受信結果が得られないばかりか、故障の原因となります。

## 【操作方法】

### 1. 電源投入

十分に電力の残っている内蔵電池が正常に取付けられている状態で、フロント面にある電源スイッチ(図中①)のレバーを上側すると、700DTA の電源がオンになります。電源オンのとき、電源ランプ(図中②)が点灯します。

### 2. バンド選択

受信したい周波数をカバーする受信バンドをバンド切換スイッチ(図中③)を使って選択します。700DTA のフロント面には、受信バンドを **MHz 単位** で記載しており、

「0.5-1.6」は 0.5 MHz ~ 1.6MHz、「1.6-4」は 1.6MHz ~ 4MHz を

表わしています。バンド選択で受信周波数が、2つのバンドに重なる場合(例 7MHz~10MHz、12MHz~20MHz)は、どちらのバンドに切換えても使えます。もし同調(次項)をして結果に差があるときは、良好な結果を得られるバンドを選択して使います。

### 3. 同調(チューニング)

適切なバンド選択がされていれば、チューニングつまみ(図中④)を使って同調を取ることができます。同調点は、受信機のSメータや復調音を参考にして最良となる場所を選びます。700DTA は鋭く高い同調特性を持っていますので、バンドによっては慎重に同調する必要があります。なお、同調がとれていないと、十分に受信性能を発揮できません。受信周波数を変更するときには、その都度、同調を取り直すようにしてください。

### 4. 電源オフ

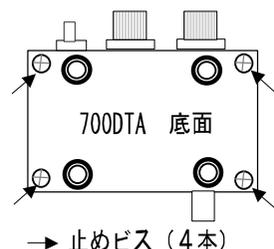
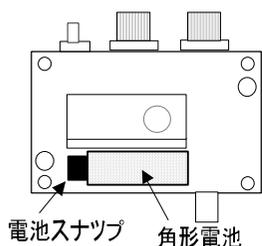
700DTA の電源をオフするには、フロント面にある電源スイッチ(図中①)のレバーを下側にすると電源がオフになります。点灯していた電源ランプ(図中②)が消灯します。**使用しないときは、必ず電源オフ**にしてください。

## 【電池交換】

1. 右図の → (矢印マーク)で示した筐体の止めビス4本を適合する +ドライバーで緩めて、底面ケースを外します。

2. 角形電池(006P)を電池スナップで接続して、下図に示すように角形電池を収めます。この時、電池の+極側で底面ケース側に来るようにします。

底面ケースには角形電池を抑えるスポンジがあります。このスポンジで角形電池を抑えるように**底面パネルの向きに注意して**取付けて、止めビス(4本)を適合する+ドライバーで締付けて、作業完了です。止めビスの締付けトルクに注意して締付けすぎないように注意してください。



## 【電池について】

700DTA は動作時の消費電流が約2mAと非常に少なく設計されていますので、通常使用では頻繁な電池交換は必要ありません。ただし、ご使用なられる環境や使用後の電源スイッチの切り忘れなどは電池寿命を短くしてしまいますので、ご注意ください。

電池が消耗すると電源オンにしても電源ランプが点灯しない(あるいは暗く)なります。そのときは新しい角形電池と交換してください。消耗した電池を、そのままにしておくと、液漏れなどの原因となります。また、**長期間使用しない場合には“必ず”電池を外しておいてください。**

## 【ご注意】

- 700DTAは**受信専用**です。送信アンテナとして使用することはできません。送信しようすると内部回路が破壊されますので、絶対に送信しないでください。
- 700DTAのアンテナエレメント接続端子には、外部アンテナなどの**付属アンテナエレメント以外のものを接続しないでください**。良好な受信結果が得られないばかりか、故障の原因となります。
- 700DTAを 受信アンテナ以外の用途にご使用ならないでください。

## 【室内アンテナとノイズ】

700DTA は屋外設置ができない場所での使用、ポータブル性を発揮して電磁波ノイズの影響が少ない場所での使用や一時的に受信アンテナが必要な場合に便利なアンテナシステムです。たいていの建物の中では屋外よりも電波は弱くなり、鉄筋コンクリートで造られた建物のように電波の遮蔽性が強い場合には、いかに高性能なアンテナシステムでも性能を十分に発揮できない場合があります。

また、多くの電気電子機器から電磁波ノイズが輻射されていて受信に影響を及ぼすことがあります。特に短波帯より低い周波数で影響を受けやすいと言われています。広い周波数帯に極めて強力なノイズが現れている場合には近くで使われている電気電子機器からの電磁波ノイズと考えられます。

### 電磁波ノイズ源となりやすい機器の例

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>インバータエアコン</li><li>電話用モデム(ADSL/ISDN 用 TA など)</li><li>通信用機器(ルーターなど)、パソコンと周辺機器</li><li>テレビ(待機中を含む)、調光機能付の照明機器</li></ul> |
|--|

マンションなどの集合住宅ではご自宅以外の部屋にある機器からの電磁波ノイズの影響を受けることがありますので、電磁波ノイズがひどい場合には屋外に仮設置して受信を試みるなどの工夫が必要となる場合があります。

改良の為、予告なく外観、仕様を変更することがあります。